

令和2年度 香川県一般会計決算見込みの概要

令和2年度は、引き続き厳しい財政状況が続く中、将来に過度の財政負担を残さない計画的で持続可能な財政運営を進めつつ、最終年度を迎える「新・せとうち田園都市創造計画」の仕上げに向け、21の重点施策を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う感染拡大防止対策、医療提供体制の整備や鳥インフルエンザ特別対策に取り組んだほか、国の補正予算を活用した防災・減災対策や人口減少問題克服・地域活力向上に努めました。

令和2年度決算は、新型コロナウイルス感染症対策の増やそれに伴う国庫支出金の増などにより、歳入・歳出ともに3年連続して前年度の決算額を上回りました。

実質収支は、95億78百万円の黒字となり、前年度に比べ45億13百万円増加しました。ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策に係る病床確保事業等の歳出不用に伴う新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の国への翌年度返還分が実質収支を大幅に押し上げており、その要因を除くと61億52百万円の黒字となります。

また、県債発行の抑制に努めてきた結果、通常債・臨時財政対策債ともに県債残高が減少し、「財政運営指針」で目標に掲げた県債残高の減少を昨年度に引き続き達成しました。

今後も引き続き新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すとともに、令和3年度からの新たな香川づくりの指針となる「みんなでつくるせとうち田園都市・香川」実現計画（仮称）に沿って、「せとうち田園都市の確かな創造」の実現に向け、各種施策に積極的に取り組みます。

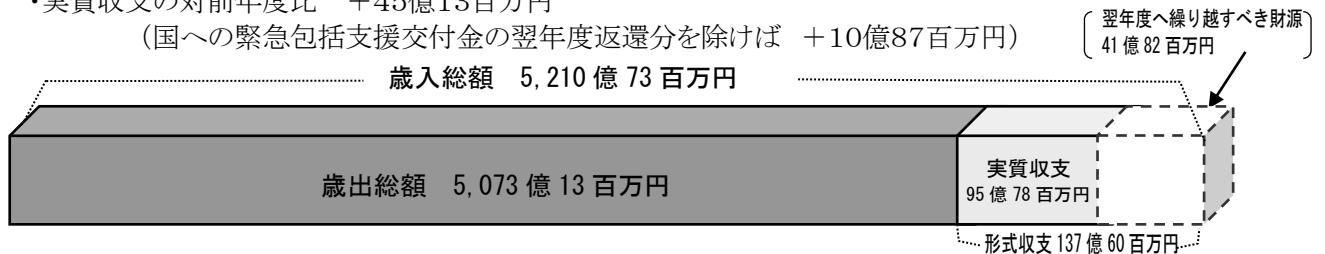
1 決算規模 **歳入総額、歳出総額は、ともに対前年度比増加**

- ・歳入 5,210億73百万円
(元年度 4,690億90百万円 対前年度比 +519億83百万円: +11.1%)
- ・歳出 5,073億13百万円
(元年度 4,588億24百万円 対前年度比 +484億89百万円: +10.6%)

2 決算収支 **実質収支は黒字**

- ・実質収支 95億78百万円の黒字 ※形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した額
(国への緊急包括支援交付金の翌年度返還分34億26百万円を除けば 61億52百万円の黒字)

- ・実質収支の対前年度比 +45億13百万円
(国への緊急包括支援交付金の翌年度返還分を除けば +10億87百万円)



○令和2年度の決算収支

(単位：百万円，%)

区 分	令和2年度 決算見込額	令和元年度 決 算 額	増減額	増減率
歳入総額 A	521,073	469,090	51,983	11.1
歳出総額 B	507,313	458,824	48,489	10.6
形式収支 C (A-B)	13,760	10,266	3,494	34.0
繰り越すべき財源 D	4,182	5,201	▲1,019	▲19.6
実質収支 E (C-D)	9,578	5,065	4,513	89.1
国への返還分 F	3,426	-	-	-
実質収支から国への返還分を除いた額 G (E-F)	6,152	-	-	-